

市民の皆さんに納めていただいた税金やそのほかの歳入などが、どのようなことに使われたのかを知っていただくため、財政執行状況をお知らせします。出納整理の期間（4月1日～5月31日）の数字が含まれないため、決算の数字とは異なります。
※表の金額は概算です。

■一般会計 歳入の状況

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	143億 1,889万円	140億 1,312万円	97.9%
地方譲与税	5億 6,757万円	5億 3,654万円	94.5%
地方消費税交付金	11億 1,499万円	11億 5,708万円	103.8%
地方交付税	108億 4,185万円	114億 1,905万円	105.3%
分担金及び負担金	8億 5,433万円	6億 5,940万円	77.2%
使用料及び手数料	5億 2,319万円	5億 212万円	96.0%
国庫支出金	54億 2,923万円	46億 3,583万円	85.4%
県支出金	30億 1,304万円	26億 2,360万円	87.1%
繰入金	18億 1,646万円	92万円	0.1%
繰越金	15億 5,369万円	15億 5,370万円	100.0%
諸収入	6億 1,770万円	4億 7,100万円	76.3%
市債	68億 9,720万円	4億 6,890万円	6.8%
その他	17億 2,424万円	15億 3,892万円	89.3%
合計	492億 7,238万円	395億 8,018万円	80.3%

■一般会計 歳出の状況

科目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3億 1,951万円	3億 984万円	97.0%
総務費	82億 2,408万円	56億 3,381万円	68.5%
民生費	141億 8,024万円	125億 3,573万円	88.4%
衛生費	51億 2,532万円	39億 313万円	76.2%
労働費	1億 1,254万円	1億 418万円	92.6%
農林業費	17億 6,110万円	15億 1,398万円	86.0%
商工費	7億 32万円	4億 5,893万円	65.5%
土木費	36億 394万円	27億 1,835万円	75.4%
消防費	25億 9,474万円	15億 5,151万円	59.8%
教育費	45億 9,210万円	25億 9,711万円	56.6%
災害復旧費	13億 8,978万円	7億 5,743万円	54.5%
公債費	66億 3,871万円	66億 3,470万円	99.9%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	492億 7,238万円	387億 1,870万円	78.6%

※市の借金である市債の収入済額は4億6,890万円であり、市債の予算現額に対して6.8%の収入です。収入率が低いのは5月に借りの金額が大きいためです。また、予算現額には繰越明許費*を含んでいます。

*繰越明許費：翌年度に限り、繰り越して使用することができる予算のこと

■市税の状況

皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く、収納額は74億6,184万円です。また、市民税の収納額は55億9,477万円、市税全体に対して約39.9%となっています。

区分	予算現額	収納額	収納率
市民税	58億 3,116万円	55億 9,477万円	95.9%
固定資産税	74億 6,161万円	74億 6,184万円	100.0%
都市計画税	4万円	4万円	100.0%
軽自動車税	2億 4,623万円	2億 4,482万円	99.4%
市たばこ税	7億 1,965万円	6億 5,249万円	90.7%
鉱産税	5万円	5万円	100.0%
入湯税	6,015万円	5,911万円	98.3%
合計	143億 1,889万円	140億 1,312万円	97.9%

■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算現額	歳入		歳出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	113億 6,333万円	100億 4,600万円	88.4%	100億 5,647万円	88.5%
	住宅新築資金等貸付	1億 3,102万円	2,904万円	22.2%	1億 2,944万円	98.8%
	駐車場事業	3,693万円	3,443万円	93.2%	2,005万円	54.3%
	介護保険事業	100億 5,973万円	93億 3,968万円	92.8%	90億 962万円	89.6%
	農業集落排水事業	18億 2,785万円	13億 6,438万円	74.6%	14億 3,889万円	78.7%
	公共下水道事業	8億 5,902万円	7億 7,422万円	90.1%	6億 5,654万円	76.4%
	浄化槽事業	2,381万円	2,213万円	92.9%	1,965万円	82.5%
	サービスエリア	1,379万円	1,262万円	91.5%	719万円	52.1%
	後期高齢者医療	10億 3,828万円	8億 8,754万円	85.5%	8億 9,428万円	86.1%
財産区	島ヶ原財産区	2,876万円	2,850万円	99.1%	1,225万円	42.6%
	大山田財産区	1,365万円	1,363万円	99.9%	293万円	21.5%
	合計	253億 9,617万円	225億 5,217万円	88.8%	222億 4,731万円	87.6%



■基金

基金とは家計に例えると貯金のようなもので平成26年度の総額は168億2,052万円です。主なものは次のとおりです。

区 分	基金額
財政調整基金	48億4,449万円
伊賀市振興基金	26億7,530万円
庁舎建設基金	14億5,382万円
国民健康保険給付費支払準備基金	11億8,410万円

■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。一時借入金は次のとおりです。

区 分	借入残高
一般会計	13億円
特別会計 (内訳：農業集落排水事業)	3億円



■問い合わせ

財政課

☎ 22-9608 FAX 22-9694

■一般会計 市債の状況

区 分	残 高
総務債など	284億9,574万円
教育債	108億2,616万円
土木債	77億9,267万円
保健衛生債	28億5,781万円
農林債	15億315万円
合 計	514億7,553万円

■特別会計 市債の状況

会計名	残 高
国民健康保険事業（直営診療所）	1,321万円
住宅新築資金等貸付	5,866万円
農業集落排水事業	103億7,989万円
公共下水道事業	67億8,241万円
浄化槽事業	1億995万円
合 計	173億4,412万円

■企業会計 市債の状況

会計名	残 高
水道事業	173億9,130万円
病院事業	15億5,688万円

■財政の動向と市長の財政方針

国の経済状況については、内閣府の3月の月例経済報告によると、景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されています。

次に、本市の財政状況ですが、平成27年度から普通交付税が縮減される点や、今後合併特例債の借入れ事業を継続して実施するため市債を借り続ける点から、公債費の一般財源に占める割合が高い状況が続くことが予想されます。これらのことから、平成27年度からは、政策的経費に充当できる一般財源が低下し、極めて厳しい状況が見込まれています。

今年度の予算編成に関しては、このような財政事情を踏まえ、「ムダのない財政運営」を基本として、普通交付税の減額による一般財源不足に対応するため、予算編成方法を一般財源配分方式に変更し、配分された財源により効果的な事業を行うこととしています。

また、本予算は、「地方創生元年予算」として、国の「地域住民生活等緊急支援交付金」の対象事業を盛り込んだ平成26年度補正予算と一体的に、地方創生、地域経済の活性化、子育て支援などに取り組んでいきます。

平成27年5月

伊賀市長 岡本 栄